味噌を作りました

●味噌作りのこと

<2月にこんなことをしました> 味噌作り

ビール瓶とバラン

煮大豆

煮大豆をビール瓶で潰す

潰された大豆①

乾燥麹

①②を煮汁を加え混ぜる

塩と麹を混ぜる②

15回目味噌作りです

2月16日に味噌作り講習会を行いました。

昨年の味噌が残っている方が多かったようで、今年は参加者がおひとりで寂しかったですが、お手伝いにおひとり来ていただいてあっという間に出来上がりました。

ご希望がある限り続ける

味噌作り講習会は2010年より講師の方々にお願いしてずっと続けてきました。昼食も参加者と共にし、講師の方々のお話に耳を傾けるのが楽しみでした。12回目のところ、2021年コロナ禍で講師の方に来ていただくのはやめて、それからはずっと私がお手伝いと言う形で続けています。そこで初めて参加される方もおられとても嬉しい気持ちになりました。かつて講習会参加後ご自分で味噌を作られたり、地域で講習会をされる方も。拡がりが嬉しいです。私は若い頃一度作りましたが、それからは仕事が忙しすぎて作れませんでした。だから、まるごと館を始めたら味噌作りをしようと決めていました。2010年から講師の方々に恵まれ沢山教えていただきました。

今でも心に残っていること

講師の方が「なんで、味噌を作ろうと思ったんですか？」と質問され、その後ご自分で「自分が、自分がではない人とのつながりを」また「世界が味噌作りから見える」と話されたことです。スーパーでお金さえだせばいくらでも高価な味噌を買えます。でも、その味噌で自分とまわりの関係を考えたり、生産者にまで思いが及ぶことはありませんね。まして、世界のことまでには。いい視野をいただいたと今でも思っています。この味噌を作る中で、大豆や麹を作った方々や食べ物が手に入らない飢餓の状態の人たちのことなどが頭に浮かんできました。毎年そんなことを思いながら大豆を2kg使って仕込んでいます。

何たって美味しい

一番はそれです。初めての方でもどうぞお越しください。来年になりますが。

乾燥麹のふくらみを

混ぜて30分おいてみる

重しの小石を煮沸

濃厚塩水にくぐらす

石に塩の結晶が

カメに仕込む

バランでふたをする

重石を乗せてラップを

紙をして作った日にちを

次の一歩

今の場で住み続けるために(5)

まるごと館で過ごす日々がいつまでも続けばとこの頃頓に思います。この6月には館がオープンして15年経ちます。私自身もそうですが、共にまるごと館で歩んで下さった方々にも年月は覆い被さって高齢化という波が押し寄せています◆日本は後期高齢者(75歳以上)が2000万人を超えました◆「介護を社会全体で支えることを目的として2000年に創設され～現在では、約674万人の方が要介護（要支援）認定を受け、介護を必要とする高齢者を支える制度として定着」と厚生労働省は謳いながら、利用者負担1割で始めたにも関わらず、所得によって2015年から2割、その内3割も。結果としてサービスを手控えたりする動きが◆2024年は介護保険改定の年。厚生労働省の社会保障審議会の各分野での論議内容に危機感を持った方々が2019年頃からオンライン集会等で声をあげ続けました。そのおかげで「要介護1と2を地域の総合事業へ移行」と「ケアプランの有料化」は今回見送られました。でも2つとも再び論議のテーブルに乗せようと虎視眈々と狙われています◆介護保険利用では認知症、脳梗塞、老衰の順で多い。元気で介護保険は関係ないわと思われていても、老衰は誰にも避けられない道です。知らないと痛い目にあいます◆各地の介護に関わる方々の声を載せた冊子に、高齢化の高い能登輪島の訪問看護師の方の言葉を見つけました。「このまちで生きたい、逝きたいというその方の覚悟を支えていく」おせっかいナースが地域の黒子としてと、介護保険改定で介護サービスを利用できなくなるとの思いを能登の地震が…。

八幡まるごと館だより

2024年3月10日/172号

＜発行＞八幡まるごと館/八幡市男山松里１２－２０
（TEL&FAX）０７５－９８３－３６６４(9時～17時)
（E-MAIL）yawata@marugotokan.net
ホームページは http://marugotokan.net/
又は、八幡まるごと館で検索して下さい

●

八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土･日午後です。

絵手紙講習会

十年近く来ていただいて、沢山アドバイスしていただいています。余り無理されないでくださいね。4月の絵手紙展は皆で動きますから。

14日 参加者が一時24人になった時がありましたが、三年にも及ぶコロナ禍で来られなくなり今の状態に。森本玲子さんにはもう

八幡の歴史

ら450kgまで可能だそうで、その船の行き来によってくら

15日 出口修さんは江戸時代の大阪から伏見・京都を淀川の 30 石船で渡る話を中心にして下さいました。まだ鉄道や車が開発される以前ですから、人や物の往来の主要な通路としてとても盛んに利用されたようです。今では想像だにできません。30 石船は米を３０石、重さにしたわんか船が近づいて飯や酒を売ったといいます。また、淀川を進む時、両岸から引っ張る人が必要だったそうです。かなりの重労働で折り重なるようにしてひっぱった。江戸時代日本との交流で来た朝鮮通信使一行もこの淀川を船で大阪から京都まで利用したそうです。

オカリナひまわり

26日 4月15日の町内の演奏会が近づいてきました。5月か6月に合う曲を選んでいます。まだまだそろわないので練習が必要ですが、いつも本番までには間に合っていますから、今回も大丈夫でしょう。素人ばかりでもうすぐしたら発足して9年になります。よく続いてきました。

パソコン教室

26日 この日は 3 人の方の参加で、それぞれの方が別分野のことをされておられます。もうおひとりで十分に使いこなされる程の力を持っておられると思いますが、ひとりでパソコンに向かうより楽しいからとの返事が。

映画上映会

28日「ぼけますから、よろしくお願いします。～おかえりお母さん」の上映でした。前回の続編で、映像を自分事で捉えることができ、おひとりおひとりが思い起こされているように思いました。夫婦や家族の関係性が浮き出ていて胸にグッとくる映画でした。色々な家族の形があっていいし、各自が納得できる生き方ができたらいいです。

八幡まるごと館3月・4月の予定

休みます 3月25日(月)午後
3月31日(日)

＜パソコン教室＞ 毎週月曜日 10 時～12 時です ３月４日(月)10時～12時　パソコンを持って来て下さい。費用200円(コーヒーつき)
オカリナクラブ ひまわり＞ 楽しめる時に。 参加費100円 ３月４日(月)13時30分～ 町内コンサートが4月15日です
絵手紙講習会＞ 参加費 400円 ３月 13 日(水)午後１時 30 分～ 講師 森本玲子さん 参加費 400 円(コーヒつき)
＜歴史を学ぶ 新八幡の歴史 NO54＞ ３月７日(木) １３時 30 分～ 講師出口修さん 参加費 100 円 月１回です
＜楽しい理科の実験 NO54＞ 光るうちわ ３月 22 日(金)13 時 30 分～ 講師 木下章司さん 参加費 300 円(コーヒーつき)
＜映画上映会＞「ぼけますから、よろしくお願いします。～おかえりお母さん」 ４月５日(金)13 時～ 再上映です。 参加費 100 円
＜歴史を訪ねて NO11＞ (雨決行)再度伊佐家へ ４月 23 日(火)現地に９時 50 分までに集合 300 円 出口修さんに近くを案内していただきます。 伊佐さんに案内していただきます

＜あんなこと・こんなこと＞

＊もう 3 月にもなり、能登の地震から 2 カ月以上に経過しました。珠洲の辺りは高齢者が多いと聞きました。もう１年ぐらい前から高齢者を巡る色んな事が気になっていましたから、今回のことは鋭く迫ってきます。この所地震が続いています。どこでも起こり得る災害。他の事は思わずに考えていかなければ、何度でも同じことが繰り返されます。東日本大震災から 13 年。見通しさえも見えません。

＊ 高齢化のことは取り組んでいこうと思っています。手を取り合ってつながっていけたら。待っていても自分たちで動かないと何もかわらないようです。どうぞご協力下さい。

＊ また演奏会、ミニギャラリーの絵手紙展、5 月になれば春のまるごと市がもうすぐです。早いもので光のごとく時は過ぎ去っていきます。その一時一時が光輝くものになれば大切に生きて行かれるように思います。そういうことを大切にしていきたいです。(うえたに じゅんこ)